

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年08月13日

計画の名称	賑わいと地域活性化の場となる都市公園づくり													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度（4年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	富士市													
計画の目標	・富士川左岸緑地は、富士山を望みながらスポーツ活動が行える施設であり非常に人気の緑地である。この施設の再整備を行うことで、すでに整備の完了している富士川右岸緑地と両岸の一体的な利用を進めていき、スポーツによる観光促進を図っていく。 ・比奈公園のあるこの地区は、かぐや姫の伝説や湧水地があることから「ロマンと泉の郷」と呼ばれ、市外からの来訪者も多い。その中心にある公園として観光の観点からも整備を推進していく。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		291	A	291	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R5末)	(R6末)
1	・都市公園の整備促進を図る。（DID区域内の1人あたり都市公園面積をR6年末までに2.52㎡/人（R3）から3.00㎡/人（R6）に増加させたい。）			
	市街地の公園における1人あたりの公園面積 1人当り公園面積（㎡/人）＝都市公園面積（㎡）/都市計画人口（人）	3㎡/人	3㎡/人	3㎡/人
2	・富士川右岸緑地・富士川左岸緑地の施設利用者数の増加を図る。（22万人／年（R3）から23万人／年（R6）に増加させたい。）			
	富士川右岸緑地・富士川左岸緑地の利用者数を計測する（万人/年）	22万人／年	22万人／年	23万人／年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																									
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況						
																		R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																							
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	富士市	直接	富士市	－	－	都市公園事業（比奈公園）	用地取得・公園整備 A=2.1ha	富士市	■	■	■	■		137	5.71	－						
	A12-002	公園	一般	富士市	直接	富士市	－	－	都市公園事業（富士川左岸緑地）	公園整備 A=32.1ha	富士市	■					154	4.52	－						
											小計						291								
											合計						291								

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体により実施	令和8年7月
	公表の方法
	富士市ウェブサイトによる
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・都市公園事業（比奈公園）では、既認可事業区域内の移転補償が完了し、施設整備が進んだ。計画に沿って事業区域の造成を終え、整備完了した区域としては0.36haを供用開始することができた。 ・都市公園事業（富士川左岸緑地）では、南側駐車場の整備が完了した。駐車場不足の解消による施設の利便性向上とともに、今後の利用者増加に向けた基盤整備が進んだ。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・都市公園事業（比奈公園）では、公園区域の供用に伴い地区で毎年実施してきた姫名の里祭りの開催会場が移転され、合わせて春季イベントも開催するようになったことから、春秋のイベント時は地元や周辺地区、中高生を含む賑わいの場、発表の場として活用されるようになっている。また、公園愛護会が結成されたことで、地区住民の日常的な活動や交流の場、憩いの場として、年間を通した活用がなされるようになった。
○特記事項（今後の方針等）	
・都市公園事業（比奈公園）は、区域拡張を踏まえた新たな都市公園事業としての県認可取得準備を進めており、本市東部における賑わい拠点の整備を推進する。 ・定量的指標とする富士川右岸緑地・富士川左岸緑地の施設利用者数は、新たな整備計画に引き継ぎ目標達成を目指す。令和8年度より都市緑地事業（富士川右岸緑地）の整備に着手し、富士川両岸緑地の全面供用に向けた事業を着実に進めるとともに、施設管理者と連携し、利用者数の増加に取り組む。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	3㎡/人	都市公園面積の増加に加え人口が減少に転じたこと、また令和2年度国勢調査を元にD I D区域の修正があったことから、目標を越えて達成に至った。
	最 終 実績値	3㎡/人	
2			
	最 終 目標値	23万人／年	最終目標値を令和6年度としたが、令和3年度に本計画で駐車場整備を完了した後、令和4年度から令和6年度の各年度は社会課題対応型都市公園機能向上促進事業での別途採択を受けたため、最終実績値の記載年度にズレが生じた。よって、駐車場整備により施設の利便は向上したものの、実績値は未達となった。また、本計画の当初現況値は令和元年度の利用者実績を参考としたが、令和3年度内は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の緊急事態宣言が県単位で運用され、競技大会の開催にかかる制約も厳しく、実績値には想定を大きく上回る影響が生ずる結果となった。
	最 終 実績値	16万人／年	